

【学習のねらい】

「思いやりの町ワークシート」の中で、気づいた問題点について自分だったらどのように行動できるかを考えることができる。

【準備するもの】

A 4用紙（白紙）、絵を描くための鉛筆、消しゴム、マジック人数分、マグネット（セロテープでもよい）、黒板（ホワイトボード）

【進め方】

- (1) 5～6人でグループになり、それぞれに9エリア分（9枚）のA 4用紙を配る。
- (2) 課題の説明をする。

「全部で9エリアありますので、グループ内で分担してください。」

「先程皆さんから人権にかかわる問題点が出されましたが、その問題点を解決するために皆さんだったらどのように行動を起こしますか。その様子をお配りした白紙に絵で描いてみてください。絵で描きづらい場合は、行動の仕方を言葉で表現しても結構です。」

- (3) 9エリアをグループの机上で貼り付けつなげて、1つの「思いやりの町」を完成させる。
- (4) 思ったこと、気づいたことを発表し合う。

【留意点】

行動の仕方を学ぶワークショップなので、参加者の様々な構想を期待したい。描かれた絵や言葉については、否定せず認めながら、今後の人権にかかわる行動につなげていきたい。

